

ちがうぞちがうぞ、いまとむかし

1 事業のねらい

親子で、昔の遊び体験や昔と今の生活や文化の違いに触れ、人々の生活向上への取組を知ることにより、日常生活への創意工夫の意欲向上を目指す。併せて、親子の絆を深める機会とする。

2 事業の概要

- 期日 R7.5.17(土)～18(日) 1泊2日
- 対象 年中～小学2年生を含む家族
- 人数 13家族37名
- 場所 ネイパル森

3 プログラム

	13	14	15	16	17	18	19	20	21
5/17(土)	受付 13:00	開 会 式	活動 ①・②	活動③	休 憩	夕食	活動④	入浴・自由時間	就寝 準備 就寝
5/18(日)	6	7	8	9	10	11	12		
	起床 6:30	朝食	部屋 清掃	部屋 点検	活動⑤	閉 会 式	解散 11:30		

① これなんだ？むかしのモノ
② 使ってみようむかしのモノ！
③ 逆にあたらしい？むかしのあそび
④ 紙芝居屋さんがやってきた！
⑤ 万華鏡をつくってみよう

4 ねらいを達成するための活動の工夫

- クイズ形式で現在のものへの発展を遊び感覚で学ぶ
 - ・説明を聞くだけの活動とならないよう、クイズ形式の活動を取り入れたほか、昔の道具などを触れられるようにすることで今との違いを感じられるようにした。
- 家族内での交流ができる内容設定
 - ・親子の絆を深める機会とするため、保護者は手本やヒントを示し、子どもはできるようになっていく姿を見せられる工夫を取り入れた。
 - ・創作活動では見えるものがそれぞれ違う万華鏡を制作し、模様を家族内で交流できるようにプロジェクターで投影した。
- 大人も楽しめる工夫
 - ・昔の雰囲気子どもも大人も感じて取組に没頭できるよう、外部講師と調整し、紙芝居の提供方法を工夫した。



昔のものを実際に触ってみる



昔ながらの紙芝居を楽しむ

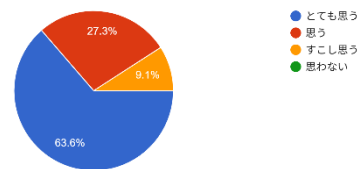
5 事業の評価

家族の絆を深める機会になったと思うかに対し「とても思う」「思う」の肯定的評価が9割を超え、狙いを十分達成する事業となった

■参加者アンケートから

- ・子どもと一緒に協力して出来る活動がたくさんあり、とても楽しめました。
- ・親子で大切な思い出を共有することができ、嬉しいです。
- ・大人も子どもも楽しめるプログラムで準備が大変だったと思います。

5) 活動を通して、家族の絆を深める機会になったと思いますか？
11件の回答



6 ねらいを踏まえた成果と課題

- 活動内の活発な様子から、クイズ形式での活動や実際に触ってみる活動を取り入れることは昔と今の違いを知ることの効果的であった。
- 家族間で協力して行う活動を豊富に入れることで、家族内での交流が他の親子事業よりも活発に行われていた。
- 生活への創意工夫の意欲向上に資する活動の提供をあまりできなかった。



企画のポイント

- ・大人も子どもも遊び感覚で楽しく学ぶための活動内容。
- ・家族内の交流ができる活動を多く設定。